



# 三木北 Library

兵庫県立三木北高校図書室  
令和2年12月16日(水)

## 夜は明ける。想いは不滅。

12月4日(金)『鬼滅の刃』最終巻の発売と同時に、『鬼滅の刃』人気キャラクターが全国紙の紙面を飾りました。図書室にも最終巻が入り、各紙の『鬼滅の刃』展示を行っています。最後に著者の吾峠さんが書かれた言葉は「夜は明ける。想いは不滅。」。コロナ禍のこんな時代だからこそ、一人ひとりが、人間の持つ弱さ(妬みや恨み、自分勝手な思い込み)という鬼を滅して、一日もはやく穏やかな日常が戻ってほしいですね。

## 『鬼滅の刃展』in 三木北



図書室で『鬼滅の刃』Twitter に、感想や好きな言葉、メッセージをツイートしよう！

## 新刊紹介

※新刊が入ったので、その一部を紹介します！



### 『鬼滅の刃 流強い自分の作り方』井島由佳(アスコム)

炭治郎、禰豆子、善逸、伊之助がどんどん強くなれるのはなぜか……。大切な人を守るため、思い通りにならないことがあっても、投げ出さず立ち向かう強い心の作り方の教科書！ 毎日の積み重ねが君の心と体を強くする。



### 『十二単衣を着た悪魔 源氏物語異門』内館牧子(幻冬舎)

フリーターの伊藤雷は優秀な弟にコンプレックスしかなかった。そんな彼が突然『源氏物語』の世界にトリップ！ そこで出逢ったのが、すべてが超一流の光源氏を弟に持つ一宮。雷は光源氏を陥れようと一宮と手を組み、暗躍を始める…。



### 『総理にされた男』中山七里(宝島社文庫)

「総理の替え玉をやってくれ！」意識不明の総理に、売れない役者の俺が!? 次々にやってくる野党や官僚との対決、史上最悪の事件…。

## 藤尾 香菜 先生 お薦めの一冊

### 『そして、バトンは渡された』

瀬尾 まいこ 著(文春文庫)



本書の主人公は、森宮優子 17 歳。私はこの主人公の性格が、とても好きだ。そんな彼女のエピソードを一つ紹介する。いつも一緒に行動している友達と些細な事で喧嘩をした優子。それがどんどん大きくなり、クラス中から無視をされる事態となってしまった。そんな状況に彼女は、「友達は絶対ではない。友達に無視されたって、勉強をおろそかにするのはよくない。〇〇はいい友達だけど、私の将来を約束してはくれない。期末はいい成績をとっておかないとな。」と、至極冷静。またその件について、「できれば収束してほしいとは思っている。だけど、集団で生活していればこういうことも

あると、どこか客観的に考えてもいる」と。揉め事にも動じない彼女は担任の先生に、「友達って、高校生活で占めるウェイト重と思うんだけど?」と心配されるまでだ。自分の軸をしっかり持ち、自分が正しいと思ったことを信じ貫く彼女は、いつだって格好良く、私には眩しかった。ああ、私はずっとこんな人になりたかったのだと思った。

そんな彼女にはなんと、父親が 3 人、母親が 2 人いる。家族の形態は、17 年間で 7 回も変わった。この数字だけ見ると、彼女はとんでもない家庭に生まれた不運な女子高生だ。しかし、彼女は全然不幸ではないのだ。先ほど紹介したように、強く凛々しい彼女には、その彼女に負けないくらい、たくましくて優しい大人がいつも沢山の愛を与えてくれたから。血縁関係があろうがなかろうが、“自分が相手の為になんか何をしてあげられるか”を常に考えることこそが本当の愛なんだと、本書を読んで気づかされた。

「親になるということは未来が二倍以上になること。」という言葉が特に印象に残っている。本書では親子の絆が色濃く描かれていたが、私はこの言葉を見て君たち生徒のことも考えずにはいられなかった。私たち教師は、生徒の卒業後の未来に希望を膨らませることが、一番の幸せなのではないだろうか。自分の未来だけでなく、大切な未来が何倍にも増える、これほど幸せなことはないだろう。今の私はそんなことを感じたが、高校生の君たちは今何を感じるのか。是非、読んで感想を聞かせて欲しい。